

研究主題 新たな学習指導要領の実施に向けた、科目間相互の連携と 史・資料や図版等を活用した授業の工夫

I 団体の概要

本研究会は東京都で歴史教育に携わる学校教職員で組織され、会員相互の歴史教育研究を通じて、生徒並びに社会一般の人々に歴史の見方・考え方を正しく理解させることによって社会の発展に貢献することを目的としている。主な活動として、大学教授等を招いた講演会。年4回にわたる授業研究会。博学連携など、新しい指導法の確立に向けた教科指導法研究会。大学入試検討委員会。年2回都内近郊を中心とした史跡見学を実施している。また、全国歴史教育研究協議会、関東歴史研究協議会などの研究会との連携を図りながら、全国の歴史教育に携わる方々と交流を深め、生徒にとってより良い歴史教育となるように日々研鑽と情報発信を行っている。

II 講演会

6月に行われた講演会では、岩手大学准教授の麻田雅文氏による講演が行われた。近年のロシアによるウクライナへの侵攻に関して、現在報道されている内容を歴史的背景からより深く解説してもらい、生徒の興味・関心が高まるような授業に活用できそうな内容を御教示していただいた。「歴史総合」が新設され、来年度には探究科目が本格実施される。そこで、12月には、日本女子大学名誉教授の成田龍一氏を迎えて、歴史総合の第一人者の立場から、探究科目とどう接続させるかに関して、御講演していただく予定である。教育現場での実際の状況に関しても意見交換を踏まえながら、今後どのように取り組むべきか考察していきたい。

III 授業研究

今年度は研究授業が4回実施された。新学習指導要領に伴い、今年度から「歴史総合」が実施され、来年度は「日本史探究・世界史探究」が実施されることを踏まえて、各担当授業者が、史資料を活用した深い学びや、単元を通観する問いや観点別評価を踏まえ、ICT機器を活用した新たな振り返りの授業実践等多岐わたる授業実践を行った。様々な課題は見えたものの、新しい科目名となり、歴史教育が大きく転換する形となった今、多くの先生方と一緒に授業の在り方について意見を交流できたことは大きな成果といえる。

IV 大学入試検討委員会

大学入試問題検討委員会は、日本史部会と世界史部会に分かれて活動している。毎年発刊される入試問題をメンバーで分担して研究し、高等学校における標準的な学習内容に照らし合わせて、適切な出題がなされているかどうかを、高校教員の立場から分析している。7月もしくは8月に「進学指導研究会」という形式で、詳細な活動報告を実施できるよう工夫している。今後は新学習指導要領に基づいた新たな形式の入試問題が増えることが予想されるため、本委員会の存在意義はますます大きなものになると考える。

V 教科指導法研修

教科指導法研修では、歴史教育における教材開発や博学連携など外部機関との連携を図り、授業力向上並びに、生徒の新たな学びの場を創設することを目的としている。今回、西国分寺にある東京都公文書館にて、博学連携を踏まえた研修を実施した。今回の研修に関しては、社会科の教員だけでなく、国語科など他教科の教員にも参加していただき、公文書の仕組みや、創設された経緯などを分かりやすく学ぶことができた。研修の中で興味深かったのは、公文書の保管方法の説明や、公文書を利用した教材開発方法であった。新学習指導要領に基づいた授業実践では、史資料の活用が非常に重要であり、この研修から新たな知見を広げることができた。

VI 史跡見学

今年度の史跡見学は、11月13日（日）に「北里柴三郎と渋沢栄一～新紙幣の顔となった人物のゆかりの地を訪れて～」をテーマに実施された。北里柴三郎、津田梅子、渋沢栄一に関して、北里柴三郎記念館を始めとして、津田梅子関連の史跡や、貨幣博物館などを訪れ、学芸員の方からの詳しい解説を受けて、新紙幣の顔をテーマとした教材教養をより深めることができた。来年の3月には、皇居周辺を巡る史跡見学を予定しており、資料を活用した深い学びの実践につながるよう進めていく。



【左は常磐公園の渋沢栄一像】

【左は常磐公園の渋沢栄一像】

IV 成果とまとめ

コロナ禍という制限のある中で、東京都の高等学校における歴史教育の発展のために、様々な取り組みを行うことができた。来年度は、世界史探究・日本史探究が始まる中で、今年度から始まった歴史総合とどう接続していくかについて、先進的な取り組みを紹介しつつ、各会員の来年度に向けた現時点での取組を基に議論を交わしながら進めることができた。

課題として、コロナ禍という観点から、教科指導法研修や史跡見学など多くの活動に制限がかかっており、充実した活動にしていくことが厳しい部分もあったので、オンライン等をさらに活用しながら、様々な状況下でも実施できるよう取り組みを進めていきたい。

以上を踏まえ、来年度より本格実施の新学習指導要領に基づいて授業実践を進めていく東京都の地理歴史科の教員にとっての懸け橋となれるよう今後とも研鑽を深めていきたい。

<連絡先>

団体名		東京都歴史教育研究会
代表者	所属	東京都立葛西南高等学校
	職 氏名	校長 関山 勝之
	連絡先	03-3687-4491
事務局	所属	東京都立武蔵野北学校
	職 氏名	主任教諭 細川 貴之
	連絡先	0442-55-2071